川島・吉見班

　川島・吉見班は、川島町２校・吉見町１校の計3校という小規模で構成されている。班ではあるが、３校が集まって研修会を行う形ではなく、それぞれの小・中学校が合同で校長会を組織し、校長会及び学校運営研究協議会を開催している。

　また、中学校長同士で随時連絡を取り合い、学校運営上の諸課題について協議し、学校運営に役立てている。

**１　主な活動**

1. 町小・中学校合同校長会

川島町・吉見町それぞれの教育委員会主催の校長会が毎月１回開催されている。校長会では、町教育長からの指示伝達、各課からの報告・連絡・依頼・協議が行われる。

(2) 学校運営研究協議会

毎月１回、校長会が主体となり、会場を小・中学校持ち回りで開催している。県・地区校長会からの伝達・報告・協議及び学校運営上の諸課題の解決に向け、協議を行っている。

(3) 研修等の具体的な取組

　ア　合同管理職人権教育研修会

　　　管理職の人権教育推進意識を高めるため毎年１回、合同で行っている。講義を拝聴するだけでなくフィールドワーク等も取り入れ、人権教育への理解をより深められるようにしている。

　　イ　川島町の取組

　　　令和7年度開校予定の小中一貫教育校に向け、推進協議会を設置し、一体型・分離型の小中一貫校の研究を進めている。

　　ウ　吉見町の取組

　 　 児童生徒数の減少により、「学校規模適正委員会」が組織され、本格的に学校再編に向け、動き出している。町内の学校間で小中交流事業を要とした「小中連携事業」に加え、「小小連携事業」の推進も行っている。

　　　　報告者　佐藤　香織（川島・西中）